

全員給食導入まで実施される  
現在のデリ弁給食をもっと使いやすく！

2021年12月町田市議会 諸派 矢口まゆ

# 通告内容

センターを建設し、全員給食実施の予定ではあるが、**それまでは現在の選択制のデリバリー弁当給食（デリ弁）の運用が続くことになる。**

現在のデリ弁において、**牛乳の有無を選択できるようにしてほしいという声や、ご飯の量を選択**できるようにしてほしいという声が多いことがわかっている。

（1）3月議会において、アレルギー等の健康上の理由で牛乳が飲めない方がいることが想定されますので、そのような方に対して対応できる方法がないか、研究していくという答弁があった。

研究の状況は。

（2）ご飯の量の調整について、予約システムの改修が必要とのことだが、見積もりはもらったのか。

（3）その他、現在のデリ弁給食に関わる内容で改善を検討しているものはあるか。

# ご飯の量を大中小、選べるようにしてほしい！

- そもそも、体重や身体活動レベルなどは一人一人異なるため、必要なエネルギーも変わってくる。

- 文科省から出ている学校給食実施基準でも、「この接種基準は全国的な平均値を示したものであるから、適用に当たっては、**個々の健康及び生活活動等の実態並びに地域の実情等に十分配慮し、弾力的に運用すること。**」とある。

## 【参考】別表（第四条関係）

児童又は生徒一人一回当たりの学校給食摂取基準

区 分	基 準 値			
	児童（6歳～7歳）の場合	児童（8歳～9歳）の場合	児童（10歳～11歳）の場合	生徒（12歳～14歳）の場合
エネルギー（kcal）	530	650	780	830
たんぱく質（%）	学校給食による摂取エネルギー全体の13%～20%			
脂 質（%）	学校給食による摂取エネルギー全体の20%～30%			
ナトリウム（食塩相当量）（g）	2未満	2未満	2.5未満	2.5未満
カルシウム（mg）	290	350	360	450
マグネシウム（mg）	40	50	70	120
鉄（mg）	2.5	3	4	4
ビタミンA（ $\mu$ gRAE）	170	200	240	300
ビタミンB <sub>1</sub> （mg）	0.3	0.4	0.5	0.5
ビタミンB <sub>2</sub> （mg）	0.4	0.4	0.5	0.6
ビタミンC（mg）	20	20	25	30
食物繊維（g）	4以上	5以上	5以上	6.5以上

（注）1 表に掲げるもののほか、次に掲げるものについても示した摂取について配慮すること。

亜 鉛……児童（6歳～7歳） 2mg、児童（8歳～9歳） 2mg、  
児童（10歳～11歳） 2mg、生徒（12歳～14歳） 2mg

2 この摂取基準は、全国的な平均値を示したものであるから、適用に当たっては、個々の健康及び生活活動等の実態並びに地域の実情等に十分配慮し、弾力的に運用すること。

3 献立の作成に当たっては、多様な食品を適切に組み合わせるよう配慮すること。

その他...

## 配膳の不便を解消、冬場の温度改善！

- **冬場は外気温の影響を受け**、配膳室の温度が低いことで給食の温度も低くなりがち。何かしら、改善する方法はないか。
- **配膳室に取りに行くのが大変**だという声がある。教室まで配膳するなど、モデル校での実施を検討していたと思うが検討状況は。
- 今後、新方式の給食を実施するにあたり、給食についてアンケート調査を行う予定はあるか。あるのなら、**現状の給食についてもアンケート**をとってほしい。（前回取らなかった、教職員と配膳員からも）

# 新方式への移行過程において…。

- 委託業者とは、センター全員給食への移行時に**配食量が大幅に減る時期がある可能性**について話しているか。その際の単価がどうなるか話してるか。

→発注数がすくなくなることで、委託先が見つからなくなったり、単価が上がるのが想定されるのであれば、現行給食の喫食率をあげなくてはならない。配膳室に全員分の給食をおける学校では、**センター給食移行までの間は現行方式の給食による全員給食の実施**なども視野に入れたらどうか。